



知的資産経営報告書2024年版

みんなの希望を叶えていく

 株式会社きぼう

 **Kibou Group**

目次

I. ごあいさつ	2
II. 当社の紹介	3
1. 経営哲学	3
2. 事業概要	4
3. 沿革	5
4. 運営店舗・施設一覧	7
III. 知的資産	8
1. 価値創造ストーリー	8
2. 当社の知的資産	9
IV. 経営環境	12
V. 将来ビジョン	13
1. 経営戦略とビジョン	13
2. 将来に向けた重点施策	14
VI. 企業概要	15
1. 企業およびグループの概要	15
2. 知的資産経営報告書について	16

I. ごあいさつ

代表あいさつ

当社の知的資産経営報告書を手にとっていただきありがとうございます。

「社員を大切にすることを創っていきたい」「社員と社長の信頼関係がある会社になりたい」そのような思いで、2008年に株式会社きぼうを設立しました。

その後、困難な局面も何度かありましたが、様々な人々との出会いや社員の頑張りもあり、順調に事業を発展させることができています。

創業事業である調剤薬局に加え、現在では介護施設の運営、コンサルティング業、建設業など、きぼうグループ全体で地域の医療と福祉に貢献しております。

この度、自社の姿を客観的に見つめ、グループの結束を強くしていくことを目的として知的資産経営に取り組みました。

「ホスピタリティの高さ」「社員同士の協力関係」「専門職としての力量」これらが、きぼうグループの持ち味であり強みであることが、知的資産経営への取り組みを通じて明らかになりました。

取り組みを通じて明確になったことや、価値を生み出すメカニズム、将来ビジョンに向けた考えなどを取りまとめたものが、本報告書です。

2029年度に売上高100億円達成することを目標に掲げて、社長をはじめ、役員、全社員が一丸となって前進しています。

今後も、皆様のご支援とご協力をいただけますと幸甚に存じます。



2024年4月

株式会社きぼう

代表取締役 円市 正人

Ⅱ. 当社の紹介

1. 経営哲学

経営理念

Philosophy

**「素直さ」「プラス思考」「学び」を大事にして
未来軸の愛情をもって接する。**

「きぼうグループ」では、社員ひとりひとりがお客様にしっかりと寄り添い、スキルアップしていける環境を整えています。
大きなやりがいと人間的な成長を手に行ける。
そのような空間が、「きぼう」にはあります。

社員同士の約束

Promise

**私たちは常に仲間の立場を認め合い
思いやり、助け合い、感謝し、
お互いの成長、そしてきぼうをみいだせる関係を
約束します。**

「自分さえ良ければいい」という気持ちで行動するのではなく、『相手の立場に立って考えて、思いやりを持って動く』ことを大切にしています。
相手のことを知るからこそ互いに距離が縮まり、普段の職場でも自然と助け合ったり、協力し合ったりして仕事を進めることができるようになる。
そのように考えています。

Ⅱ. 当社の紹介

2. 事業概要

きぼう薬局

大阪府下で8店舗の調剤薬局を運営。

在宅療養中の患者さまの元に薬剤師が訪れ、服薬指導や薬の管理を行う「訪問調剤」を導入しています。

主に介護施設の入居者様を訪問調剤の対象としており、月に2回程度、施設を訪問。そこでは、ドクター・看護師・ヘルパー・薬剤師が一つのチームとなって、入居者の方々のケアにあたっています。



介護施設

大阪府下で介護施設を運営。

「より質の高い生活」「安心できる医療体制」「温もりあるふれあい」を大切に、理想的な生活環境をご提案しています。



きぼう建設

介護施設の建設やリノベーションを得意にしています。
住宅などの建設も行います。



Ⅱ. 当社の紹介

3. 沿革

年月	出来事	現在につながるエピソード
2008年4月	円市正人が個人事業として創業 つるはら駅前薬局 開局	■「社員を大切にしたい会社を創っていききたい」という思いのもと創業 ■年中無休で働き続けた日々 ■資金調達に苦勞することもあった
2008年5月	きぼう薬局本店 開局	
2008年12月	株式会社きぼう 法人設立	
2009年1月	りんくう店を開局	■想定外の事態が起こり、短期間で閉局 ■失敗の中から、判断の速さの大切さを学んだ
2013年1月	きぼう薬局 岸和田駅前店 開局	■在宅医療との出会い ■医師との往診同行の醍醐味を感じた
2016年10月	株式会社ウェルネス 法人設立	■理念を共有する仲間と出会い、介護事業へ進出 ■介護保険制度の理解に苦勞したが、現在の介護事業の礎を築くことができた
2017年1月	ライフガーデンくまとり 開業	
2018年1月	きぼう薬局 おおとり店 開局	■堺・泉北エリアの拠点として開局
2019年2月	株式会社きぼうマネジメント 法人設立	■グループ経営を見据えホールディングス体制を構築
2019年3月	株式会社A&N 法人設立	■24時間医療ニーズへの対応を開始
2019年2月	ライフホープ初芝 開業	
2019年7月	ライフホープ鶴原 開業	
2020年8月	きぼう薬局 八戸ノ里店 開局	
2020年8月	ライフホープ初芝2番館 開業	■ご縁に恵まれ、介護施設の開業を加速
2020年10月	株式会社ライフホープ 法人設立	
2020年11月	メディカルリハ堺 開業	

Ⅱ. 当社の紹介

年月	出来事	現在につながるエピソード	
2021年4月	きぼう薬局 北野田店 開局	■ 堺市東部と南河内エリアの訪問調剤拠点として開局	
2021年4月	株式会社きぼう建設 法人設立	■ 薬局、介護に続く新たな事業として設立 ■ 経営効率化と事業のスピードアップにつながった	
2021年4月	ななゆめ株式会社 法人設立	■ 優秀な人材との出会いにより介護事業の展開を更に加速できた ■ 経営陣の体制が大きく強化された	
2021年10月	株式会社GALLANT 法人設立		
2022年1月	フクシ浜寺 開業		
2022年2月	ななゆめホーム門真浜町 開業		
2022年2月	ライフホープ二色の浜 開業		
2022年3月	メディカルケアなかもず 開業		
2022年5月	ナーシングホスピス堺 開業		
2022年10月	ライフホープ深阪 開業		
2023年3月	きぼう薬局 弥刀店 開局		■ 薬剤師の独立を支援するためのモデル店として開局
2023年3月	株式会社3SMILE 法人設立		■ 2023年は5棟の老人ホーム開設を目標に掲げた ■ 結果、6棟を開設できた
2023年7月	メディケアななゆめホーム柏田西 開業		
2023年10月	ライフホープ藤井寺 開業		
2023年10月	ライフホープ和泉橋本 開業		
2023年12月	メディケア縁 開業		
2023年12月	ライフホープ茨木豊川 開業		
2023年12月	ナーシングヒルズ交野メディケア 開業		

Ⅱ. 当社の紹介

4. 運営店舗・施設一覧

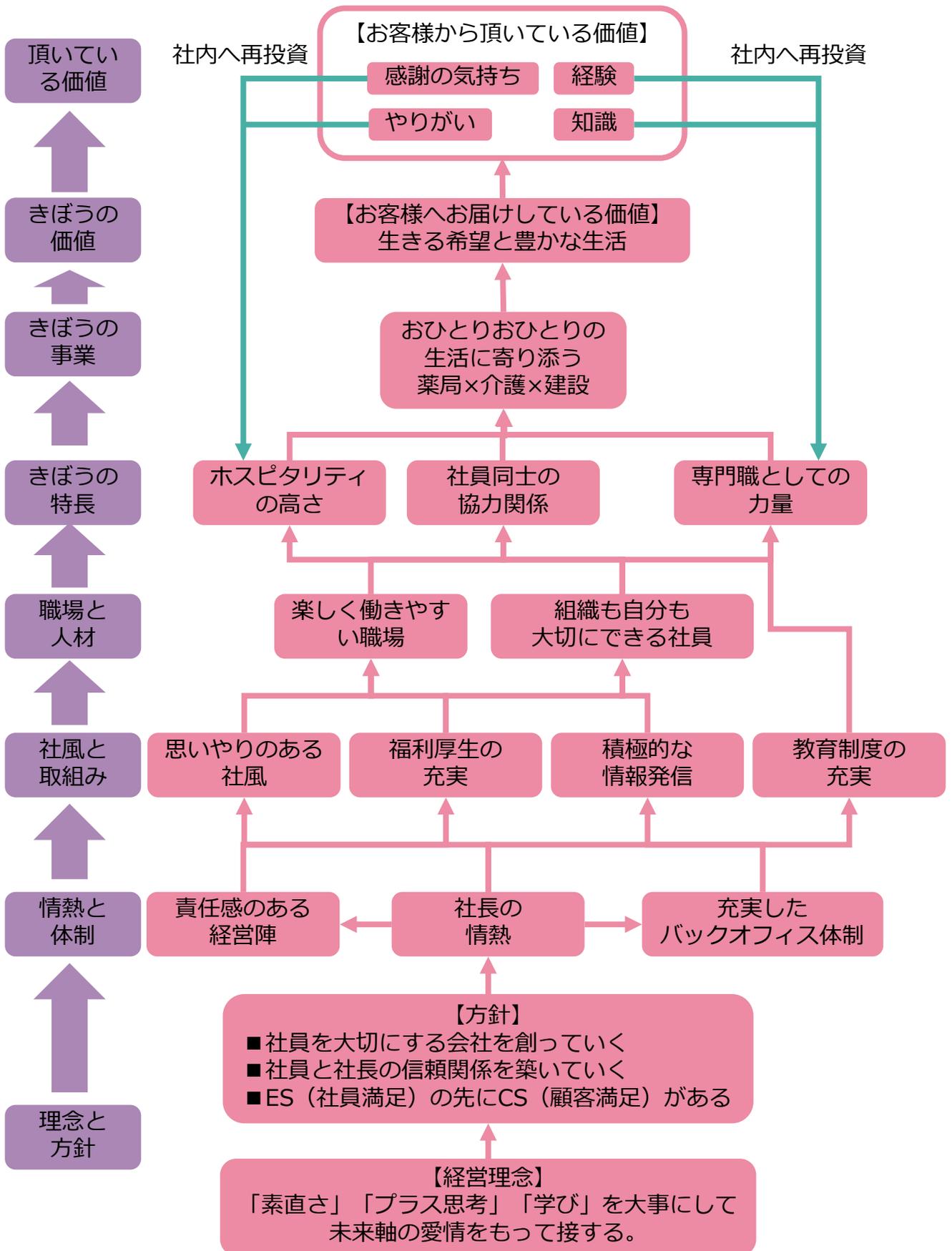
2024年4月現在

種別	運営会社	店舗名・施設名
きぼう薬局	株式会社きぼう	本店
		つるはら駅前店
		岸和田駅前店
		弥刀店
		八戸ノ里店
		北野田店
		おおとり店
		浜寺店
老人ホーム	株式会社ライフホープ	ライフホープ熊取
		ライフホープ鶴原
		ライフホープ二色の浜
		ライフホープ深阪
		ライフホープ藤井寺
		ライフホープ和泉橋本
		ライフホープ茨木豊川
	株式会社A & N	ライフホープ初芝
		ライフホープ初芝2番館
		メディカルリハ堺
		メディカルケアなかもず
		フクシ浜寺
	ななゆめ株式会社	ななゆめホーム門真浜町
		メディケアななゆめホーム柏田西
	株式会社GALLANT	ナーシングホスピス堺
		ナーシングヒルズ交野メディケア
	株式会社3SMILE	メディケア縁



Ⅲ. 知的資産

1. 価値創造ストーリー



Ⅲ. 知的資産

2. 当社の知的資産

■ 社員同士の協力関係

仲間意識。

きぼうグループで重要視していることです。

仲間意識があることで、お互いに細かな気遣いができます。

細かな気遣いの積み重ねが、良きリーダーシップと良きチームワークを生み出します。

■ ホスピタリティの高さ

病気をお持ちの方、日常生活に困難を抱えている方、介護に悩みをお持ちのご家族様など、当社のお客様は様々な苦しみに直面されています。

それらの苦しみを取り除くことができるよう、全力を尽くす。

それが私たちの仕事です。

■ 楽しく働きやすい職場

サービス品質の優劣を決めるのは、最終的に人です。

職場環境は人のパフォーマンスに大きな影響を与えます。

個々の社員が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、働きやすく楽しい職場づくりに取り組んでいます。

具体的には定例会議での課題共有やサンクスカードの運用、外部カウンセラーによる面談などです。

居心地の良い雰囲気づくりに取り組んでいます。

■ 組織も自分も大切にできる社員

「共感できる人たちと一緒に頑張りたい」

きぼうの社員はそのように考えている人が多いです。

自分自身を大切にするが、自分さえ良ければいいという考え方はしない、私たちが大切にしている価値観です。

ひとりひとりの心が満たされることで、人に対しても優しくできる、そのような組織づくりに取り組んでいます。



Ⅲ. 知的資産

■ 思いやりのある社風

お互いの気持ちが通じ合い、社員間の風通しが良い、そして社員がいきいきと働いている、それがきぼうの企業風土です。

そのような社風のおかげで、社員が友人や知人を紹介し、採用・入社に至るといった例もたくさんあります。

■ 福利厚生の充実

社員同士の交流に重きを置いています。

交流によりお互いを知ることができます。相手に好意を寄せるその第一歩目は相手のことを知ることだと考えています。その第一歩を支援するために、様々なイベントを行える福利厚生制度を設けています。

また、専門家によるカウンセリング制度も整備しており、心の健康づくりも大切にしています。

長く安心して働ける環境を整備することが、品質向上につながっています。

■ 積極的な情報発信

ホームページやSNS、動画、エッセイなど様々なメディアを使い、情報発信を行っています。

その目的は、私たちの思いを広く知ってもらい、共感していただける方を増やしていくことです。

デジタル技術の進歩は速くまだまだ改善の余地はありますが、お客様や将来一緒に働く仲間に向けて情報発信を続けていきます。

■ 教育制度の充実

研修や勉強会の開催、学術大会への参加支援など、社員の力量向上に力を入れています。

また、マニュアルの整備、業務ルールや手順の明確化も行い、初任者が早期に能力を発揮して活躍できる環境を整備しています。



Ⅲ. 知的資産

■ 社長の情熱

「社員と仲良く仕事をしていきたい」
「社員を大切にすることを創っていききたい」
「社員と社長の信頼関係がある会社になりたい」
この3つが創業の思いです。
ずっとブレることなく、この思いを貫いてきました。
「社員がより働きやすくするためにどうするか？」
「団結力を高めるためにどうするか？」
「社員がチャレンジできる職場であるためにどうするか？」
これらのことを、寝ても覚めても考え続けています。

■ 責任感のある経営陣

当社はグループ経営を推進することにより、成長を続けています。
役員は責任と権限を持った上で、グループ会社の運営を担っています。
それぞれに専門性があり、責任感が強く、誰からも信頼される。
当社の役員の特長です。
社長の熱い想いに共感し、ともに前進する経営陣の存在。
それが力強い成長につながっています。

■ 充実したバックオフィス体制

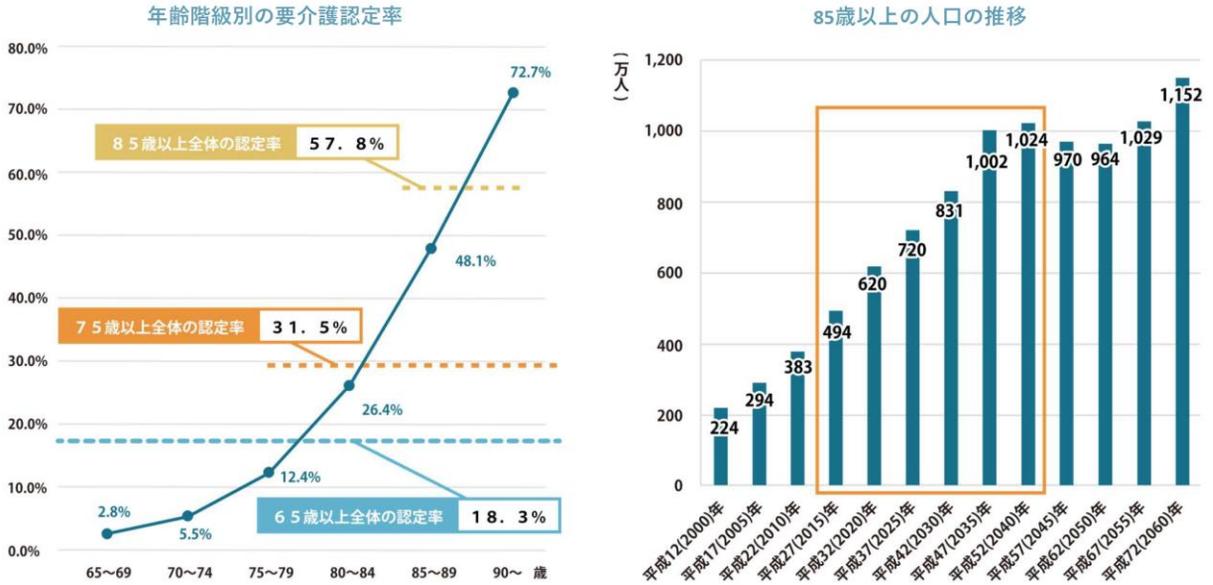
専門職の社員に第一線で能力を発揮してもらうためには、環境整備が必要です。
福利厚生をはじめとした社内制度の設計・運用、教育研修の企画・運営、機械設備やITツールの導入、人材採用活動、財務分析、資金調達など。
これらはすべて、本社のバックオフィス部門の支えにより成り立っています。
バックオフィスでも専門性と力量のある社員が協力しあいながら、現場の活動や仕組みをサポートしています。



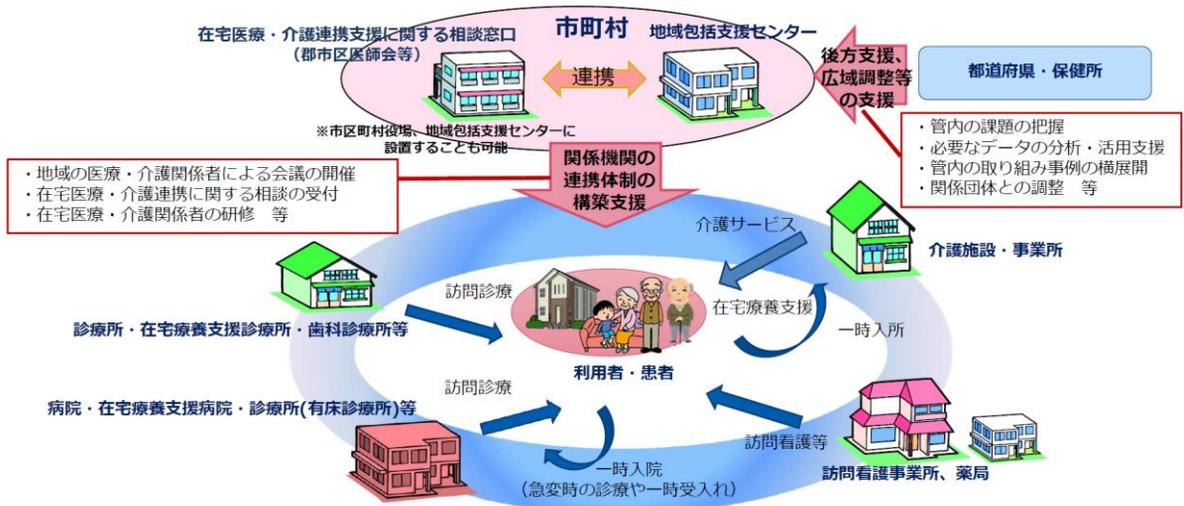
IV. 経営環境

医療・介護の複合ニーズが一層高まる

- 要介護認定率は、年齢が上がるにつれ上昇し、特に、85歳以上で上昇します。
- 2025年度以降、後期高齢者（75歳以上）の増加は緩やかとなりますが、85歳以上の人口は、2040年に向けて、引き続き増加が見込まれており、医療と介護の複合ニーズを持つ人が一層多くなることが見込まれています。



- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要です。
- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進するとされています。

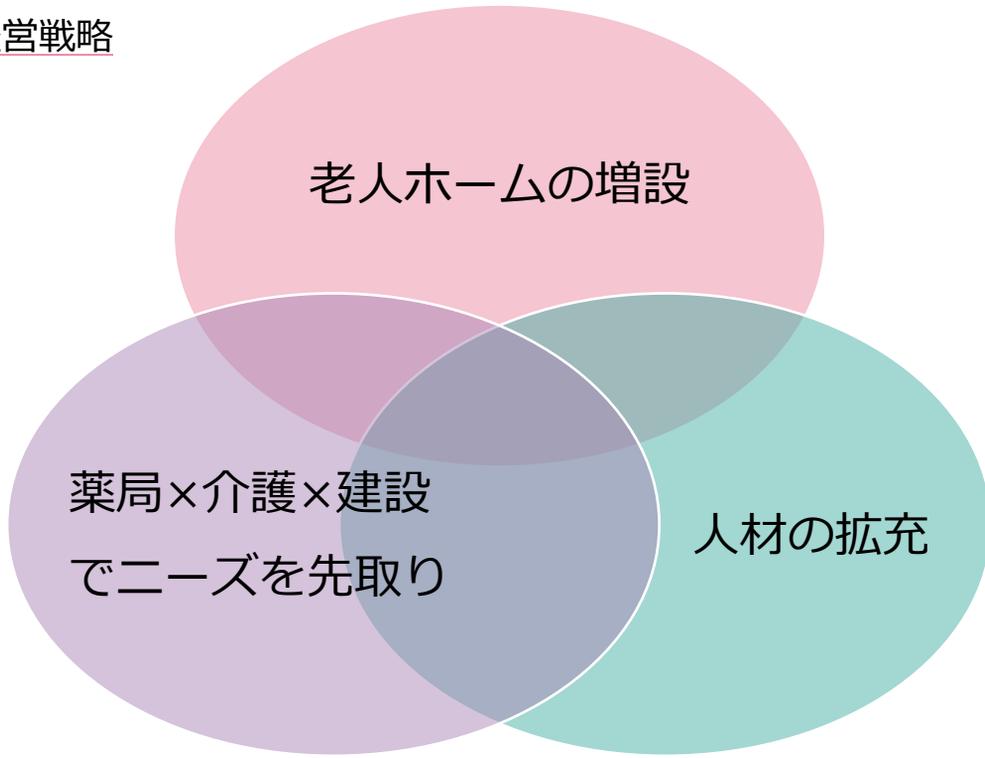


出典：「在宅医療・介護連携推進事業の取組について」
厚生労働省老健局老人保健課（令和6年1月26日）

V. 将来ビジョン

1. 経営戦略とビジョン

■ 経営戦略



将来に向けた重点施策

- 顧客満足度の更なる向上
- 大阪府下での薬局拡充
- 開発部の強化
- 医療関連機関との連携強化
- 自社の訪問看護ステーションを展開
- 大阪北部での老人ホームを増設
- 人事部の創設・強化
- 社員の働きやすさの追求

実現する将来ビジョン

- 2029年度 グループ売上高100億円達成
- 医療・介護にかかわる人たち全員が「きぼうグループで働きたい」と言ってくれる会社に

V. 将来ビジョン

2. 将来に向けた重点施策

■ 顧客満足度の更なる向上

お客様の夢をかなえるために、小さなことから大きなことまでできる限りのことをおこなっていきます。

美味しい食事の提供、レクリエーションの充実など顧客満足度向上につながることに積極的に取り組んでいきます。

■ 大阪府下での薬局拡充

当社が得意とする「訪問調剤」に特化した薬局を、大阪府下で拡充していきます。

医療と介護の複合ニーズに対応するために、老人ホームに併設した薬局の開設も計画しています。

■ 開発部の強化

2024年3月に開発部を発足しました。

開発部では、老人ホームや薬局の新設にかかわる情報収集や企画を主に行います。

今まで社長の個人ノウハウで行っていた開発業務を、組織の知識・活動へと変換していきます。

■ 医療関連機関との連携強化

各々の老人ホームが地域の医療関連機関（診療所、歯科診療所、訪問看護、訪問リハビリ、訪問マッサージ等）との連携を強化することで、医療と介護の複合ニーズに応えていきます。

■ 自社の訪問看護ステーションを展開

従来、当社の老人ホームでは地域の訪問看護ステーションとの連携を行ってきました。

入居者の方へご提供する価値を高めていくためには、訪問看護ステーションを自社で運営していくことが必要であると考えています。

■ 大阪北部での老人ホームを増設

大阪南部地域を中心に老人ホームの展開を行ってきましたが、今後は展開エリアを大阪北部地域にも広げていく計画です。

■ 人事部の創設・強化

現在は総務部が人事管理業務を行っています。

組織の成長に伴い、総務部から人事管理業務を独立させ、人事部を創設することを計画しています。そして採用活動や評価制度の整備など、人事管理業務の強化を図っていきます。

■ 社員の働きやすさの追求

「楽しく、長く働ける職場」をテーマに取り組んでいますが、まだまだ道半ばであると考えています。従業員満足度の更なる高みを目指し、ハード面・ソフト面両方の環境整備をすすめていきます。

VI. 企業概要

1. 企業およびグループの概要

社名 株式会社 きぼう

法人設立 2008年12月4日

資本金 1,000万円

代表者 円市 正人（えんいち まさと）

本社住所 〒593-8327
大阪府堺市西区鳳中町3丁66番地3

電話番号 072-276-4564

FAX 072-276-4565

きぼうグループ
株式会社きぼうマネジメント（2019年設立）
株式会社A & N（2019年設立）
株式会社ライフホープ（2020年設立）
株式会社きぼう建設（2021年設立）
ななゆめ株式会社（2021年設立）
株式会社GALLANT（2021年設立）
株式会社3SMILE（2023年設立）

VI. 企業概要

2. 知的資産経営報告書について

【知的資産経営報告書とは】

「知的資産」とは、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、クライアントとのネットワークなど財務諸表には表れてこない、目には見えにくい経営資源を意味します。「知的資産経営報告書」とは、見えにくい経営資源、即ち非財務情報を、債権者、株主、クライアント、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）の形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。平成17年10月に経済産業省から「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠しています。

【知的資産経営報告書の掲載内容について】

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。そのため、将来にわたり当社の取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生ずることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことをご了承願います。

【知的資産経営報告書のお問い合わせ先】

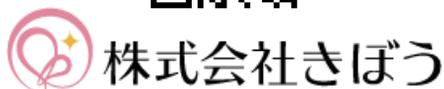
株式会社 きぼう 総務部

大阪府堺市西区鳳中町3丁66番地3

TEL:072-276-4564 FAX:072-276-4565



<https://group.kibou-pharmacy.com/>



<https://kibou-pharmacy.com/>



<https://www.lifehope.jp/>



<https://kibou-kensetsu.com/>



<https://www.nanayumehome.jp/>



株式会社GALLANT

<https://www.nursing-hospice.com/>



株式会社3SMILE

<https://www.medicareen.com/>